



日本土地環境学会 2025 年大阪大会 公開シンポジウム

テ ー マ

多角的視点から考える土地の環境価値・評価に関する新たな指標

主 催

日本土地環境学会

後 援

公益社団法人日本地球惑星科学連合 公益社団法人地盤工学会 公益社団法人日本地震学会
一般社団法人地理情報システム学会
公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会 公益社団法人大阪府不動産鑑定士協会
特定非営利活動法人地中熱利用促進協会 明治大学法科大学院環境法センター

趣 旨

土地の環境価値について評価を行うにあたっては、従来から社会科学、自然科学からのアプローチにおいて検討を重ねている。そのうち、自然科学からの評価については科学の進展に伴って評価の質も変わってきており、その進展に相応した評価軸を評価理論に組み込む試みも必要であろう。特に、居住の安全にかかわる自然災害リスクや土地そのものが持つ環境価値を評価に取り入れることは、国民の暮らしや経済活動を守るうえで重要な指標となる。

本シンポジウムは自然科学評価項目のうち、土地の安全に関わる地質学および地盤工学の分野や環境経済学や環境法政策が扱う自然価値から新たな指標を創造、提案し、実務者と共に考える場としたい。

開催日時 2025（令和7）年10月4日（土曜日） 14：30～17：00 （開場：14：00）

会 場 追手門学院大学 総持寺キャンパス アカデミックベース
（〒567-8620 大阪府茨木市太田東芝町1番1号）

参加費 無 料 （資料代：1,000 円）

申込方法 日本土地環境学会ホームページに掲載します。 <https://www.j-lei.jp> QR コード⇒

内 容 挨拶：柳 憲一郎（日本土地環境学会会長・明治大学名誉教授）

◇基調講演◇

三村 衛 （GRI 財団 代表理事）

「地盤工学から見た土地の評価」

- ・ 膨大な地盤データから地下の状態を把握
- ・ 防災に資する地盤モデルの構築

三田村 宗樹 （大阪公立大学 名誉教授）

「地質学から見た土地の評価」

- ・ 平野、台地、丘陵造成地の地下構造の特徴
- ・ 地質構造の形成過程から見た広域な地下地質

<休憩5分> 開催校挨拶

◇シンポジウム◇ 土地の環境価値・評価に関する新たな指標

コーディネーター： 何 彦旻^{か えんみん} （追手門学院大学経済学部准教授）

栗本 史雄 （国土デジタル情報研究所 代表理事）

「地質地盤情報の活用と共有化、そして法整備へ」

- ・ 地質地盤情報の電子図書館の構築
- ・ 地質地盤情報共有化のメリットと法整備

本間 勝 （株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング・日本大学生物資源科学部兼任講師）

「地質地盤情報の土地政策への社会的意義と公開情報」

- ・ 地質地盤情報と土地政策
- ・ 地質地盤情報の共有化に向けた現状と課題

車 競飛^{きやうひ} （追手門学院大学経済学部講師）

「不動産の価値評価に関わる地質地盤情報の意義」

- ・ 環境経済学から考える地質地盤情報
- ・ 中国の地質地盤情報の現状

村木 信爾 （日本不動産鑑定士協会連合会・明治大学専門職大学院特任教授 不動産鑑定士）

「地質地盤情報の不動産鑑定評価基準の取り扱いと今後」

- ・ 土地鑑定評価における地質地盤情報の取り扱い
- ・ 今後の鑑定評価への展望

質疑・討論

閉会

